



会報「VG 槻輪だより」
第200号おめでとう

「じゅいませす

これから皆様がボランティア活動を続けられるとき、うまく行くとき行かないときあると思います。

私の考えではボランティア活動は自分の時間などを他人のために使うこと、ご承知のように、ボランティア活動のキーワードに「寄り添う」「共感」「傾聴」など沢山あります。皆様の活動のとき何かのお役にたつかと思いつつ手なことですが、山口県の生まれの金子みずすの詩2編を紹介させていただきます。

私がさびしいとき
よその人は知らないの。
私がさびしいとき
お友達は笑うの。
私がさびしいとき
お母さんはやさしいの。
私がさびしいとき
私さまはさびしいの。

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていうと
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていうと
「もう遊ばない」っていうと
「もう遊ばない」っていうと

「もう遊ばない」っていうと
さびしくなって
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと

高槻市
市民公益活動
サポートセンター
元センター長 宮津 昭



パソコン教室第1期生と
記念写真(左端: 宮津さん)

「VG 槻輪だより」は
高槻ボランティアの年輪

会の目的は、街づくりに関する市民活動と聞きまし。自然環境、生きがい、文化、安全、福祉、など事

業内容は多岐にわたっています。そして活動で広がる出会いの場を作り、会員の「大きな生きがい」と楽しみを見出します。平成16年槻輪より創刊号を見たとき、会員の「大きな」という文字に感動したことを思い出します。

そして槻輪は、「何をやる会ですか」ではなく、「何をしたいですか」そのしたいことをみんなで考え活動してきました。

（会報121号大岡会長記）
NPOフェスタには必ず参加しました。シニアにこにこ活動（シニアマッチング）にも積極的に参加してくれました。庭の草引き、家具移動、樋の清掃、庭の散水、そしてパソコン教室など。ボラセンを中心に開催した、フリーマーケットにも参加し、収益を寄付してきました。リサイクル眼鏡の活動も続けています。

17年前、槻輪だよりで「わがまち紹介」を開始しました。それは、高槻をもっと知って、高槻を好きになろうとして始めた活動でした。そして高槻をもっと好きになった槻輪の人々の活動が、高槻を支える活動として、市民の中に浸透してゆきました。

2004年から16年余り、終わってみれば懐かしい記録でもありますが、長い仲間の活動の記録であり、またかかわった市民の記録でもあります。

200号、欠けることなく発行され届けられ、協働プラザには、分厚い3冊のファイルとして保管されています。それは、高槻のボランティアの歴史を知ること、時間の経過を感ずるとともに、変わるさまの記録でもあります。

槻輪だよりの発行が、さらにさらに続けられ、その槻輪の活動が記録され続けることを願うものであります。

高槻市市民公益活動
サポートセンター
前センター長 長谷川 隆



「VG 槻輪だより」
創刊200号
おめでとうございます

16年余にわたり、毎月発行してこられたご努力には感謝いたします。

「まちづくり塾」の講座の内容が参加者の心に残ったとしても、サポートセンターのスタッフとしては、それが「新しい

団体」という「見える形」で活動を始められた意気込みに「成果があった」と、うれしかったのを覚えています。

その活動を支える形で、長きにわたり会報「VG 槻輪」を出し続けてこられたこと、そこには活動の成果が結集されています。当時のみなさんが、ほとんど引退されたこと、時間の経過を感じるとともに、変わるさまの記録でもあります。

大岡さんのご努力に敬意を表します。

高槻市市民公益活動
サポートセンター
元次長 衣川 雅子

※編集部メモ
VG 槻輪では、サポートセンターを育ての親だとよく言っています。

「VG 槻輪だより」
第200号記念
おめでとうございませす
(スゴイ!!)

大岡さんとの出会いはサポートセンター 西冠事務所

で、ボランティア活動についての話をお聞きしてからです。

その当時VG 槻輪団体のボランティア活動と言う意味がまったく分かっておらずボケッと聴いていました。年月が経つうちにNPOフェスタに参加した際に、活動を教えて貰いました、その時の会場における展示方法の素晴らしさに感動しました。以後毎年VG 槻輪の展示を楽しみにして作ろうと挑戦しましたが、出来ませんでした。

ボランティア活動に対する、打ち込み態度、優秀な人材の豊富さ、組織力の違いを知り諦めました。

しかし大岡さんの、リーダーシップは背中を見ながらずっと吸収することについては、諦めていません。今や設立より20年になろうとしています、今後大岡さんの元気な背中を見続け少しずつ前へと歩きたく思っています。ありがとうございます。

「花と緑の救援隊」
高槻支部代表 岡野 光伸
※編集部メモ

「VG 槻輪」は、いつも「まちづくり」の協働体です。よろしくお願ひします。